

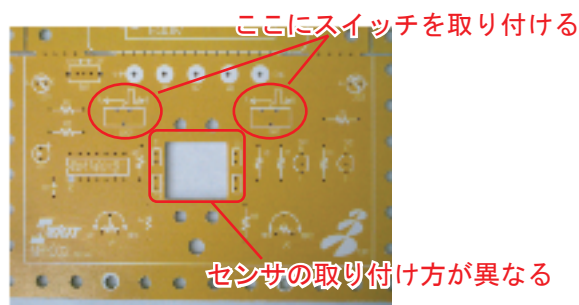
ITクラフトマンシップ実験授業

ライントレースカー 補足説明書

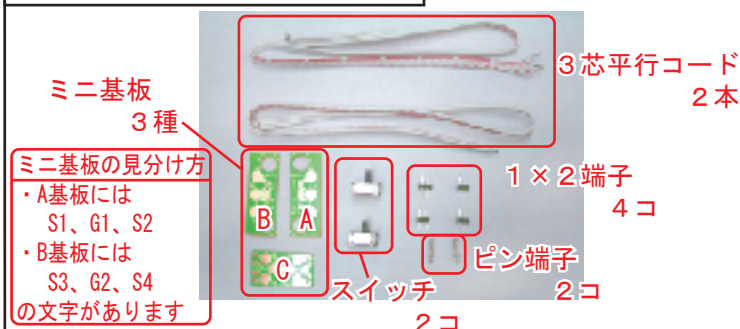
このライントレースカーは、ITクラフトマンシップ実験授業用の特別仕様になっています。
このため、説明書3ページの「9 センサの組み立て」以降の組み立て方が、説明書に記載の方法と異なります。

9以降の組み立ては、この補足説明書のとおり組み立ててください。

基板の仕様がかわります！



部品が追加になります！



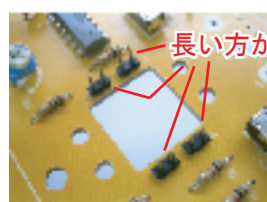
9 追加部品の取り付け



・スイッチ
□SW2 □SW3

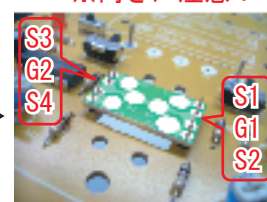


・ピン端子 (取り付け方向あり)
□V+ □GND



・1×2端子 (取り付け方向あり)
□T1 □T2 □T3 □T4

※向きに注意！



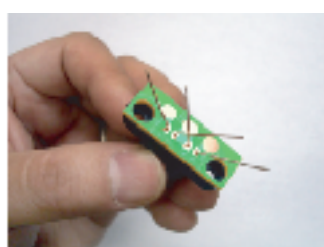
ミニ基板Cの穴に端子を差しこみ、はんだ付けする。

10 センサの組み立て

※2組作ります

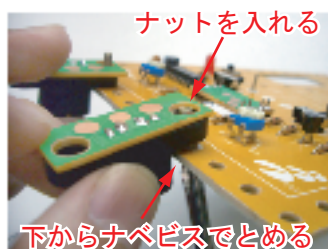


①説明書の「9 センサの組み立て」の①のとおり、センサブラケットに発光ダイオードとフォトトランジスタを差しこみます。

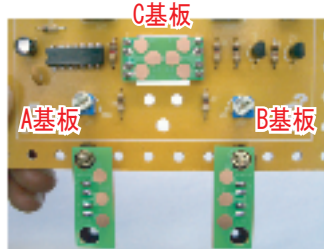


②AとBのミニ基板に部品の足を差しこみます。「PHTR」にフォトトランジスタ、「LED」に発光ダイオードの足を差しこみます。足は奥まで差しこみ、落ちないように少しひろげてから、はんだ付けします。

11 センサの取り付けと配線



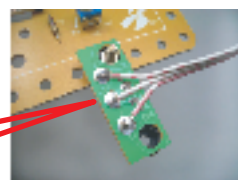
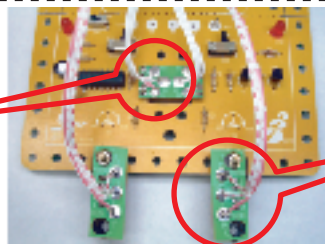
①基板の先端部分の穴に、ビスとナットでセンサを取り付けます。このとき、A基板、B基板を、右の写真のように左右を間違えないように取り付けます。



※センサ取り付けたあとは、写真のようになります。



3芯平行コードには、上の写真のように、各コードに模様がついています。



A、B、C各基板のS1～S4、G1、G2にはんだめっきをし、C基板とA基板、B基板の同じ記号の端子どうし (A基板のS1とC基板のS1というように) を、コードの模様を目印にしてつなぎます。

ここまでできたら、説明書の4ページ「3. メカの組み立て」にもどり、タイヤ部分の組み立てを行ってください。